

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公開番号】特開 2019-115722 (P2019-115722A)

【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2019-54202 (P2019-54202)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 23 日 (2019.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した保留表示を行う保留表示手段と

、

可変表示が開始されたことに基づいて、当該可変表示に対応する保留表示に応じた特別画像を所定領域に表示する特別画像表示手段と、

可変表示が実行されてから仮停止した後に再可変表示を行い表示結果を導出する再可変表示実行手段と、

可変表示の実行中に、前記特別画像の表示態様を変化させるときと、前記特別画像の表示態様を変化させないときにおいて共通で実行され、当該可変表示の実行中に複数回実行可能な共通演出と、当該共通演出を実行した後に前記特別画像の表示態様を複数種類のいずれかに変化させる成功演出または前記特別画像の表示態様を変化させない失敗演出とを実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記再可変表示を含む一の可変表示の実行中における第 1 タイミングと、当該第 1 タイミングよりも後の第 2 タイミングとを含む複数タイミングのうち、いずれのタイミングで前記共通演出を実行するかに応じて、前記特別画像の表示態様をいずれの表示態様に変化させるかの割合が異なるとともに、前記第 2 タイミングにおいて前記共通演出が実行されるときは、前記第 1 タイミングにおいて前記共通演出が実行されるときよりも、前記成功演出が実行される割合が高い、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 本発明は、上述した課題を解決するためになされたものであり、本発明の一態様である遊技機は、可変表示（例えば、特図の可変表示、飾り図柄の可変表示、特図及び飾

り図柄の可変表示など)を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態等)に制御可能な遊技機(例えば、遊技機1など)であって、可変表示に関する情報を保留情報として記憶する保留記憶手段(例えば、第1特図保留記憶部151A、第2特図保留記憶部151B、第1始動入賞時受信コマンドバッファ194A、第2始動入賞時受信コマンドバッファ194B等)と、前記保留記憶手段に記憶されている保留情報対応した保留表示を行う保留表示手段(例えば、ステップS162の第1保留追加処理において第1始動入賞記憶表示エリア5HLに保留表示を追加する処理や、ステップS165の第2保留追加処理において第2始動入賞記憶表示エリア5HRに保留表示を追加する処理など)と、可変表示が開始されたことに基づいて、当該可変表示に対応する保留表示に応じた特別画像(例えば、当該可変表示に対応する保留表示を所定のアクティブ表示エリアAHAに移動させたアクティブ表示、または、当該可変表示に対応するアクティブ表示に応じた情報を表す特別画像など)を所定領域(例えば、アクティブ表示エリアAHAは、例えば画像表示装置5の中央下部に設けられる。このアクティブ表示エリアAHAには、少なくともアクティブ表示AHが表示され、当該アクティブ表示AHの他にこのアクティブ表示AHを囲うアクティブ表示枠AHWやアクティブ表示枠AHWを含む所定の範囲を含む領域など)に表示する特別画像表示手段と、可変表示が実行されてから仮停止した後に再可変表示を行い表示結果を導出する再可変表示実行手段と、可変表示の実行中に、前記特別画像の表示態様を変化させるときと、前記特別画像の表示態様を変化させないときとにおいて共通で実行され、当該可変表示の実行中に複数回実行可能な共通演出(例えば、第1系統変化演出において、図形群Y1がアクティブ表示に衝突する前までの演出や、第2系統変化演出において、矢Y2がアクティブ表示を囲うアクティブ表示枠に衝突するまでの演出など)と、当該共通演出を実行した後に前記特別画像の表示態様を複数種類のいずれかに変化させる成功演出(例えば、第1系統変化演出において、アクティブ表示に図形群Y1のいずれかの形状「星」の図形が衝突して星の表示態様に変化する演出や、第2系統変化演出において、アクティブ表示枠に矢Y2が衝突してアクティブ表示枠の線の太さが変化する演出や、これらの第1系統変化演出と第2系統変化演出とを両方実行してアクティブ表示やアクティブ表示枠などの表示態様を変化させる演出など)または前記特別画像の表示態様を変化させない失敗演出(例えば、第1系統変化演出において、アクティブ表示に図形群Y1のいずれかの形状「星」の図形が衝突する前に消滅してアクティブ表示の表示態様を変化させない演出や、第2系統変化演出において、アクティブ表示枠に矢Y2が衝突する前に矢Y2が消滅して、アクティブ表示枠の線の太さが変化させない演出や、これらの第1系統変化演出と第2系統変化演出とを両方実行してアクティブ表示またはアクティブ表示枠の一方または両方の表示態様を変化させない演出など)とを実行可能な演出実行手段と、を備え、一の可変表示の実行中における第1タイミングと、当該第1タイミングよりも後の第2タイミングとを含む複数タイミング(例えば、図28のタイミング1~4など)のうち、いずれのタイミングで前記共通演出を実行するかに応じて、前記特別画像の表示態様をいずれの表示態様に変化させるかの割合が異なるとともに、前記第2タイミングにおいて前記共通演出が実行されるときは、前記第1タイミングにおいて前記共通演出が実行されるときよりも、前記成功演出が実行される割合が高い、ことを特徴とする。